

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 住吉区
学校名 大阪市立清水丘小学校
学校長名 岩崎 哲

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・清水丘小学校では、第6学年 96名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は、大阪市平均を7ポイント、全国平均を8.7ポイント下回った。学習指導要領の内容別でも「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の項目に関して、いずれの観点も大阪市平均や全国平均を下回る結果になった。

算数科の平均正答率は、大阪市平均・全国平均を8ポイント下回った。学習指導要領領域別の正答率を見ても、全ての領域で大阪市平均・全国平均を下回る結果になった。理科の平均正答率は、大阪市平均を10ポイント、全国平均を12.1ポイント下回った。学習指導要領の区分・領域別の正答率もすべての区分・領域で大阪市平均・全国平均を下回る結果になった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 学習指導要領の内容全般においての底上げを図る必要がある。特に、文章等から必要な情報を選び、要約していくける力の向上を目指した取り組みを進めていく必要がある。総合的読解力を高める取り組みを進めていく中で、必要な情報を選択できるスキル、自身の考えを整理する能力を磨いていく必要がある。

[算数] 基礎的な計算力を向上させていくための反復練習を繰り返していくことに加えて、「図形」や「データの活用」など、図形やグラフ、表などから必要な情報を選んで課題を解決していくデータ処理力をより磨いていく必要がある。

[理科] 単なる知識の習得にとどまらず、実験・観察に基づいた結果から考察して法則を導いていく科学的思考を磨いていく必要がある。特に観察結果や文献・映像資料などを整理して考察する力を持つ必要がある。

質問調査より

児童の大半は、学校へ来るのが楽しいと感じており、友人関係を含んだ現状には満足している様子がうかがえる。また、指導者側からも児童は学習に熱意をもって取り組んでおり学習規律も保たれているとみている。しかしながら、自分に自信をもちきれず、自らの課題や疑問を解決していくこうという意識をもちづらい面もあり、学力の向上に影響をあたえているのではとも思われる。指導者は、児童を多角的にとらえ、児童の関心・意欲を高めて学習に臨ませる指導の工夫を進める必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

ICT機器の活用や学力向上支援チームによる専門的なサポート、そして調査研究活動を軸に、子どもたちの能力を多角的に高めていきたい。今年度より読みの力を高める授業づくりを目指して国語科の授業について研究を進めているが、学力向上支援チーム事業を有効に活用しながら、子どもたちが文章等から必要な情報を選び、要約していく力を向上させられる授業を開拓していく研鑽を深めていきたい。また、総合的読解力向上の取り組みをさらに深め、国語科の研究活動との両輪で児童の読解力向上に努めていきたい。児童の総合的読解力向上の取り組みが、算数科や理科の課題であるデータ処理力や実験結果の整理・考察能力などの向上にも有効な手立てとなりうると認識しているので頑張っていきたい。

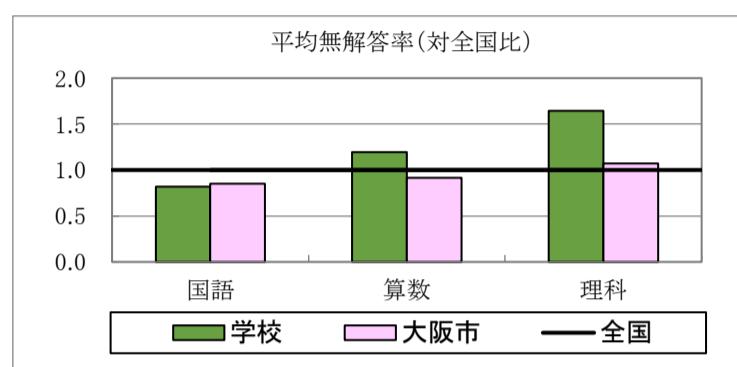
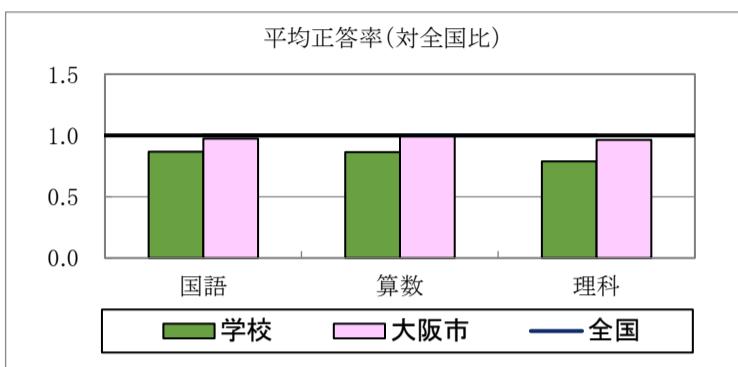
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	58	50	45
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.7	4.3	4.6
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



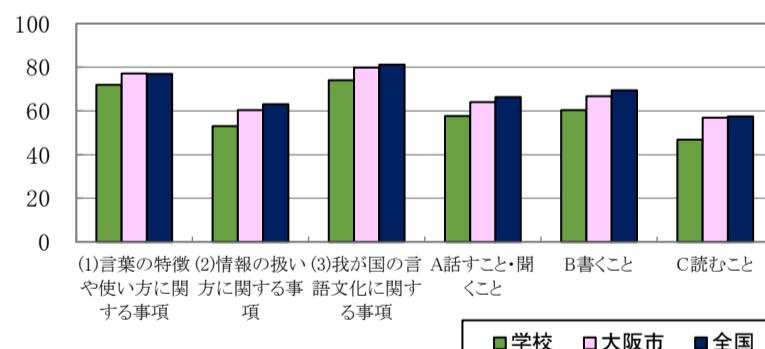
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	71.9	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	53.1	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	74.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	57.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	60.4	66.7	69.5
C 読むこと	4	46.9	56.9	57.5

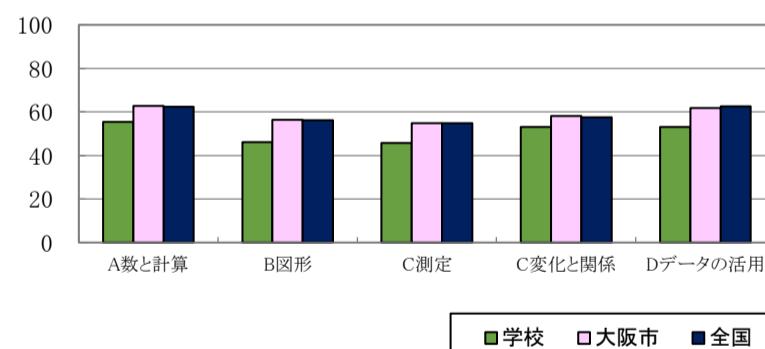
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	55.5	62.7	62.3
B 図形	4	46.1	56.4	56.2
C 測定	2	45.8	54.9	54.8
C 変化と関係	3	53.1	58.2	57.5
D データの活用	5	53.1	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



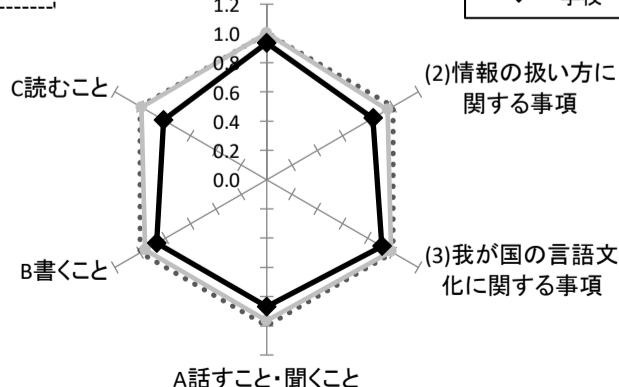
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

(1)言葉の特徴や使
い方に関する事項

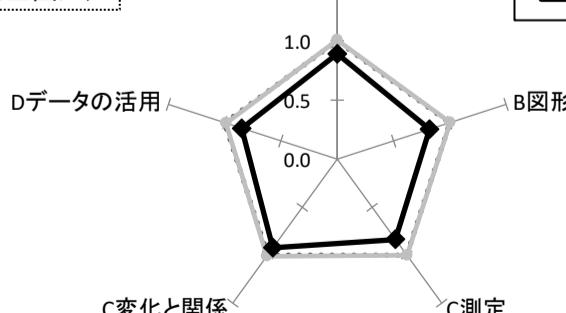
..... 全国
— 大阪市
— 学校



算数
領域別正答率
(対全国比)

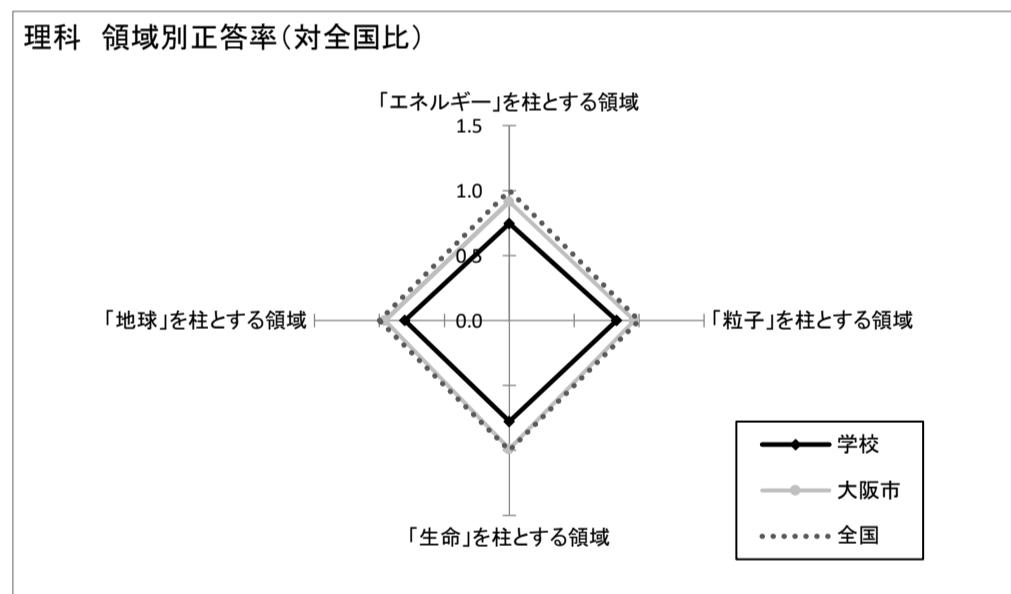
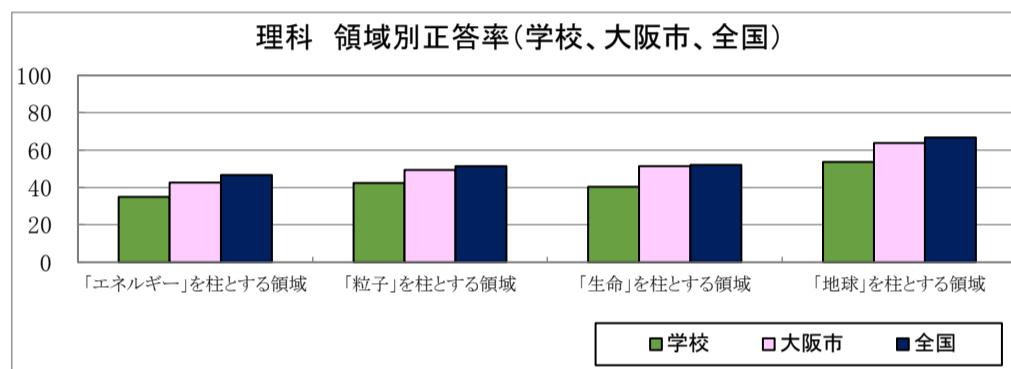
A数と計算

..... 全国
— 大阪市
— 学校



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	34.9	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	42.5	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	40.4	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	53.6	63.8	66.7



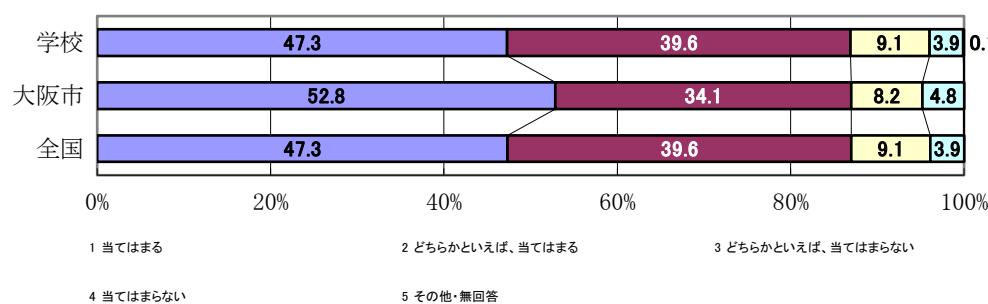
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

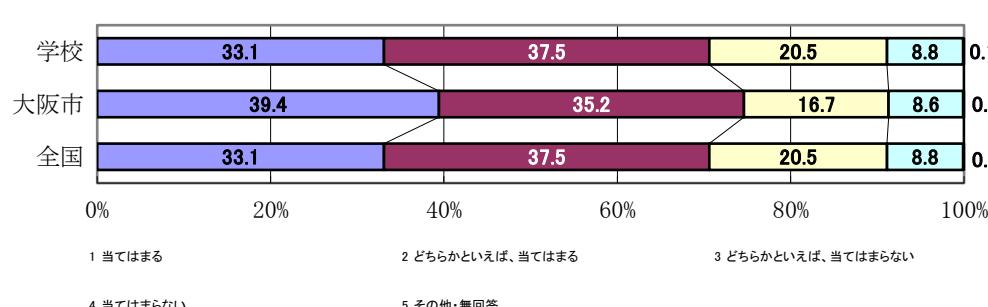
5

自分には、よいところがあると思いませんか？



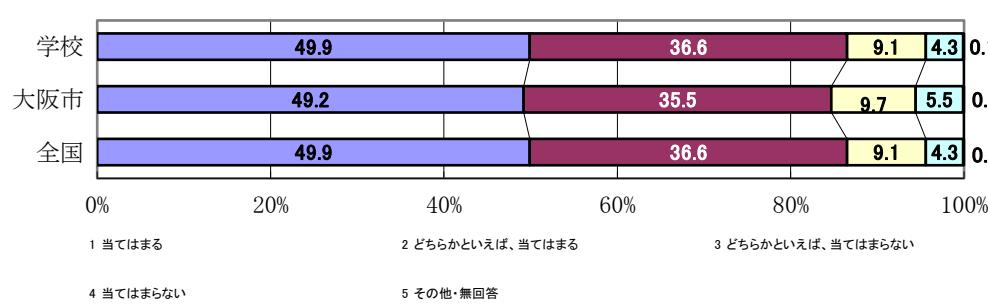
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人についても相談できますか？



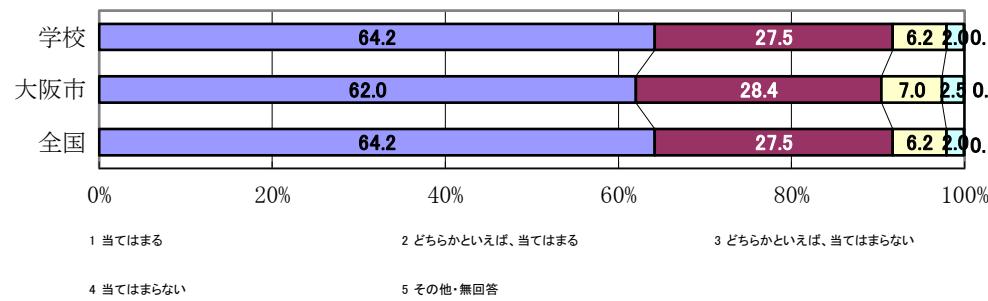
12

学校に行くのは楽しいと思いますか？



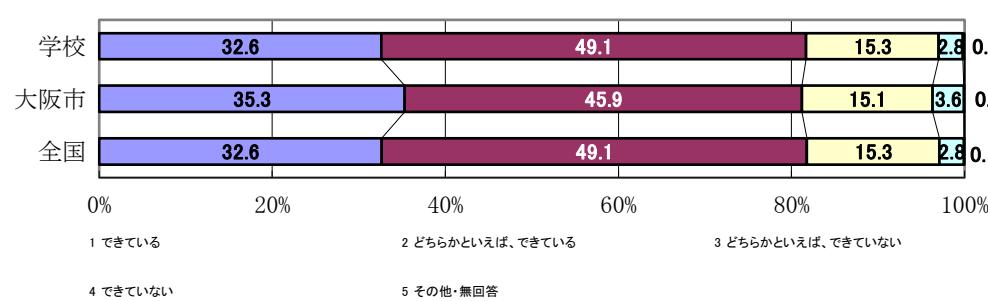
14

友達関係に満足していますか？



16

分からぬことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか？



学校質問より

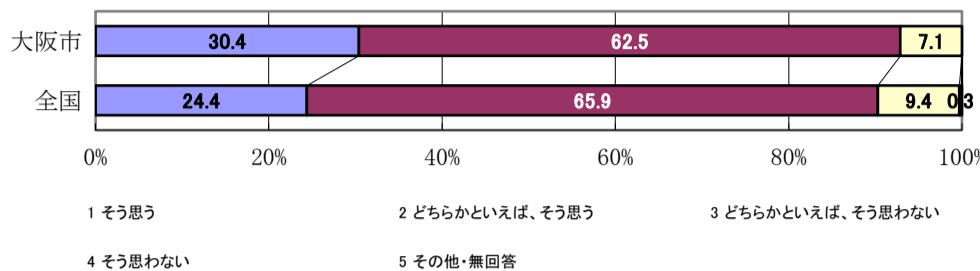
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

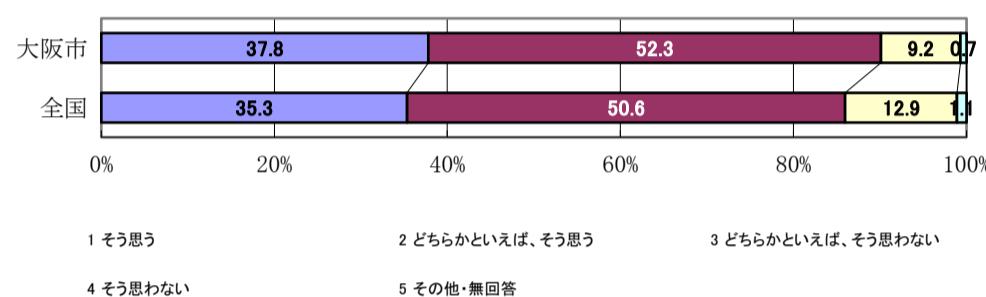
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

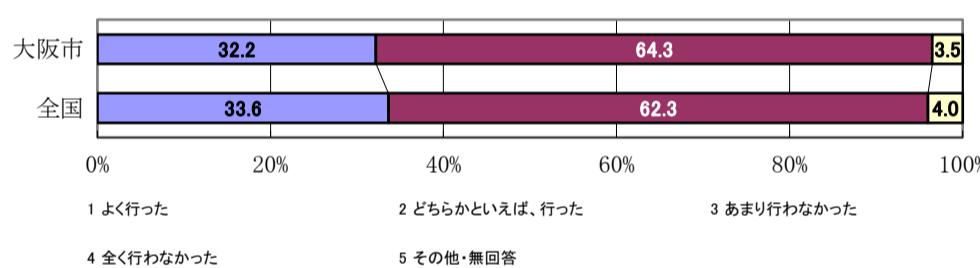
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



44

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる指導を行いましたか

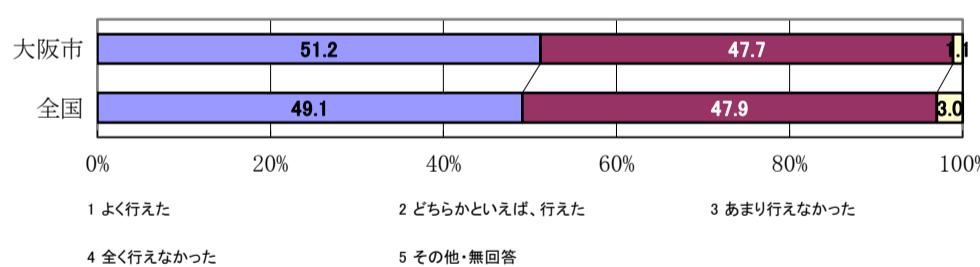
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



48

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた児童に対する対応を行えていましたか

学校 「どちらかといえば、行えた」を選択



53

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、課題解決の過程における自分や友だちの学びの深まりや疑問に思ったことを振り返ることができますか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

